

小学校4年生 図画工作の学習

「ちょきちょきかざり 1年生におめでとう！の気持ちを伝えよう（4月）」



おりがみを数回折って、はさみを入れることでいろいろなもようをつくり出すことができました。折り方、折る回数、はさみを入れる形を友達同士で話し合いながら試していました。



「絵の具でゆめもよう（4・5月）」

マーブリングでイメージをふくらませ、ストロー・ビー玉・金あみ・ブラシなどを使って、ゆめもようを考えました。ふしぎな形、楽しい形、うれしい色、おもしろい色……。友達が見つけた技法をみんなで見ながら表すことができました。



「光とかげから生まれる形（5月）」

まずは、光の実験をしました。図工室を真っ暗にして、画用紙やカラーセロハンにLEDライトと白熱電球を当てて光とかげを生み出しました。光を当てる角度や位置によって、自在にかげを生み出すことができました。



次に、クラスで光をテーマにショートムービーをつくりました。集中して形・色・光に向き合うために、できるだけ話をしないで友達同士の動きを互いに感じ取りながら協同して動画にしていけることができました。



「ほってすって見つけて（6・7月）」



母島の葉っぱをよく観察して、葉っぱ版画、紙版画、木版画の3種類で版で表しました。表し方の違いによって、作品のイメージが変わることが分かりました。木版画では、彫刻刀や電動のこぎりの使い方もしっかりと覚えることができ、いろいろな道具や技法を身につけると表現できることがぐ〜んと広がることが分かりました。



「まぼろしの花（7月）」

「母島の石から芽が出て、茎がのびて、花が咲いたらどんな感じになるかな？」という問いに、2人1組でイメージをふくらませ、アイデアを出し合い、色を決めてまぼろしの花を描きました。理科で学習したことをいかして、植物のつくりをふまえながらも、自分たちなりに新たなイメージを重ねて表していました。

